受付	令和　５年　２月　20 日
	午前・午後　10 時　18 分

一　般　質　問　通　告　書

令和　５年　２月　２０日

高山村議会議長　西原　澄夫　様

高山村議会議員　　黒岩　清道

質 問 事 項	質問の趣旨
人口減少と高山村の未来像について	村の総合戦略の中で、出生数４６人、合計特殊出生率 1.84 の基本目標をたてていますが、令和３年の出生数２４人、合計特殊出生率 0.88 が現状です。これは村に魅力がない、子育てしにくい村と言われているようです。子育て世代が、2 人目、3 人目を生み育てたいと思える支援が薄いのではないか。また、若い世代が移住する判断材料として、治安が良い、自然が多い、子供が遊べる公園がある、教育施設が充実している、交通の利便性が良い、買い物施設が近い、世代間のコミュニティがあるなどをあげています。　岡山県東北部の人口 5,758 人の自治体では、合計特殊出生率が 2005 年時点で 1.41 になり、危機感を感じ独自の施策として、出産祝い金を一人目 10 万円にしたり、小中学校の教材費を無料にしたり、高校生の就学支援を年９万円支援とか、高校生やお年寄りが使うバス停を交流の場として作り直したり、孤立は住民の流出につながると考え、短時間の託児や短時間の仕事を情報発信するなど、若い世代の移住者を増やす各分野の施策と、住民を核とした活動の結果、合計特殊出生率が、2007 年には 2.0 を上回り 2019 年 2.95、2021 年 2.68 と非常に高くなり、脚光を浴びた町があります。 そこで、３点質問をします。
	質問要旨と質問
	①高山村も危機感を感じて、近隣自治体と足並みをそろえるのではなく、出産祝い金を 3 万円から 10 万円に上げるとか、高校生に就学支援するなど、村の独自性を感じる子育て支援策を考える時と思いますがいかがでしょうか。 ②交通の利便性、公共交通も総合戦略で、社会環境や 住民のニーズの変化を考慮しつつ、適宜見直しを図りますと書かれています。意見や要望を話合い提案する仕組みや、交流の場にもなるハブ的なバス待合所を作る必要があると考えますがいかがでしょうか。 ③世代間のコミュニケーションの場所の公民館ですが、老朽化と利便性が問題だと思いますが、高山村では十数年前のアンケート結果を元に長寿命化を進めています。12 月の議員視察で豊丘村の公民館と図書館を見学しました。明るく使いやすい作りになっていた事と、総工費が８億５千万円ほどに驚きました。社会環境や住民のニーズが変化している今、再度検討をするべきと考えますがいかがでしょうか。

※ 質問の趣旨・要旨は、わかりやすく記載するようご配慮ください。